

GRIPS-ODI 合同 フィードバック・セミナー 「グッド・ドナーシップと援助モダリティの選択」のご案内

関係者の皆様

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

GRIPS 開発フォーラムは、2004 年の研究テーマの 1 つとして、援助の有効性を高める観点から、□援助モダリティの選択・組合せにかかる論点整理と国別事例の分析、および□援助を実践する際のドナーとしての責務（グッド・ドナーシップ）について検討を重ねて参りました。本調査の初期段階では英国 ODI（Overseas Development Institute）研究者とブレンストーミングを行ったほか、実施・とりまとめにあたっては、JICA 関係者を始めとする有志との勉強会、および事例分析対象国における現場の経済協力関係者など、フロント・ラインにいる政策・実務担当者と密接に意見交換を行い、国内外における政策・実務担当者から多くの有益な情報やコメントを頂きました。

つきましては、関係者の皆様に本研究の成果をフィードバックし、今後の取組みについて議論を促すことを目的として、ODI 研究者 2 名を招聘し、来る 3 月 15 日（火）に下記要領にてフィードバック・セミナーを開催いたします。アフリカとアジアの開発援助をとりまく環境の相違もふまえて、活発な議論ができることを期待しております。

記

テーマ：Good Donorship and the Choice of Aid Modalities

—Matching Aid with Country Needs and Ownership

日時： 2005 年 3 月 15 日（火）14：00～17：00 （開場：13：30）

場所： JICA 国際協力総合研修所 2F 大会議室（定員約 40 名）

（地図：<http://www.jica.go.jp/branch/ific/map/>）

報告者：Karin Christiansen、Debbie Warrenner（以上 ODI）

大野泉、山田肖子、二井矢由美子（以上 GRIPS）

使用言語：英語（通訳なし）

主催：政策研究大学院大学（GRIPS）21 世紀 COE プログラム

協力：独立行政法人国際協力機構（JICA）

連絡先：GRIPS 開発フォーラム事務局 林田篤子

（直通 03-3341-0384、Email：azko@grips.ac.jp）

ご出席を希望される方は、氏名（ふりがな）、所属先、役職、電話番号を明記のうえ、2 月 28 日（月）までに GRIPS 開発フォーラム事務局の林田（azko@grips.ac.jp）までお申し込み下さい。会場の都合上、定員を超えるとお断りする場合がありますので、ご参加いただけない場合のみ当方よりご連絡いたします。セミナープログラムなどの詳細については、添付をご覧下さい。

* なお、本テーマに係る勉強会・セミナー記録は <http://www.grips.ac.jp/forum/gooddonorship.htm>

* 英文報告書は <http://www.grips.ac.jp/forum/pdf05/ModalityEng.pdf> からダウンロード可能です。

以上